

はなおだより



学校教育目標
「地域の特性を基に、知・徳・体・食の
調和のとれた心身ともに健康な児童の育成」
(目指す児童像)
○ 自ら学び考える子ども (知)
○ 心身ともに健康な子ども (体・食)
○ 人を大切にし、地域を大切にする子ども (徳)
○ 地域の文化を受け継ぐ子ども (徳)

北九州市立花尾小学校
〒805-0067 八幡東区祇園1丁目6番1号

1年の計は元旦にあり



平成29年(2017年)が始まりました。おめでとうございます。
元旦は穏やかな天候に恵まれ新しい年を迎えました。ご家庭では、
どんなお正月を過ごされたでしょうか。

冬休み明けの1月10日。児童玄関で、久しぶりに友だちと顔を合
わせる子どもたちの表情は明るく、あいさつの声もひときわ弾んでい
ました。「冬休みはどうでしたか。」と尋ねると、どの子も「楽しかったよ。あのね…。」
と返ってきます。また学校に活気が戻りました。

「1年の計は元旦にあり」という言葉があります。皆様のご家庭でも、今年はこん
な年にしたいと夢をえがき、「今年もがんばるぞ」と話されたことと思います。その際、
実現可能なわかりやすい目標をもたせ、目標達成のために具体的に何をするのかという
計画を立てることが大切です。人は、誰しも飽きやすく、長続きしないところがありま
すが、こうした年の区切りをうまく利用し、気持ちを切り替え、新たに自らのやる気を出
させるようにしてほしいです。

3学期は、わずか10週間あまりしかありませんが、4月からの新たな出発に備える
今年度の締めくくりの時期であり、どの学年も充実した毎日が過ごせるように、一日一
日、一時間一時間の授業を大切に指導していきたいと思います。特に、6年生にとって
は、いよいよ小学校生活のしめくくりの時期を迎えます。卒業までの毎日、気力、体力
を充実させて悔いの残らないように精一杯学校生活に取り組んでもらいたいです。そし
て、友だちと気持ちを通わせるとともに、下級生に花尾小学校の良き伝統を伝え、導い
てほしいと思っています。

保護者の皆様、地域の皆様、今年もどうぞよろしくお願いいたします。

3・4・5年生は、学年まとめのテストを実施します。

12月号でもお知らせしましたが、今週の1月12日(木)、3・4年生は「CRT
学力検査」、5年生は「北九州市学力状況調査」を行います。このテストは、各学年の
2学期までの内容がどの程度定着しているか確かめる検査です。1か月以内に届く結果
をもとに、定着できていない内容については、アシストシートやフォローアップシート
で、当該学年の学習内容を確実に身に付けさせます。

ご家庭でもご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

始業式での校長先生のお話

みなさん、おはようございます。そして、新年あけましておめでとうございます。みなさん、楽
しい冬休みでしたか。お正月におもちは、何個食べましたか。こうやって、元気なみなさんと、ま
た会えることを校長先生は、とてもうれしく思います。

さて、今日から3学期が始まります。学年初めの4月にお話した、本年度一年間がんばって
ほしいこと、思いやり、やさしさいっぱいの花尾小学校にする、そのために「きもちのよいあいさ
つ」と「ありがとう」を素直に言うということ、これを仕上げる3学期にしてもらいたいと思いま
す。

2学期の終業式に、お世話になった先生方に心を込めて「ありがとうございました」と言って2
学期を締めくくってください。とお願いしたところ、担任の先生だけではなく、校長先生にまで言
ってくれたお友だちがたくさんいました。とてもうれしかったです。

一方、あいさつについては、地域の方や先生方から挨拶をされると挨拶できるようになっ
てきました。もっと気持ちのよい挨拶にするために、校長先生から2つのあいさつポイントを教え
ます。

1つ目は、「自分からあいさつ」です。

2つ目は、「おかめのあいさつ」です。

「おかめのあいさつ」の「お」は大きな声で、「か」は体を起こして、「め」は目を見て です。

挨拶すると、人と人とを仲よくしてくれます。私たちの心を温かくしてくれます。優しくしてくれ
ます。

3学期は、短いです。あっという間に終わります。3月までに、花尾小学校の全員が、「自分
からおかめのあいさつができる」ように頑張りましょう。

<子育てにあたって親子でチェック！してみてはいかがでしょう？>

学校では、子どもたちが自分らしい生き方を実現できるよう、目標に向けて努
力する、自分のよさを知り自信をもって活動するなど、自立して社会で生きてい
くための基礎を育てています。家庭でも、子どもの自立を支えていくことが大切
です。以下の項目についてチェックし、子どもたちに夢や目標をもって生活を送
ることができるよう支援してあげてください。

- ☐ 子どもが、自分自身のよいところを知っている。
- ☐ 子どもが、親の仕事を知っている。
- ☐ 子どもが興味を持っていることや、将来の夢を知っている。
- ☐ 家族の一員として子どもに仕事（お手伝い）を与えている。
- ☐ 自分の仕事のよさや大変さについて、話したことがある。
- ☐ 今の仕事を選んだときのエピソードについて語ったことがある。
- ☐ 学校での学習と社会とのつながりについて、話したことがある。

* 千葉県教育委員会HPより引用